

(4) 情報メディア教育支援センター

① センター

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

情報メディア教育支援センターは、本学の情報システム及び学内情報ネットワーク並びに情報セキュリティの円滑な管理・運用を図り、教育・研究・管理・運營業務等に資するほか、情報教育を総合的に推進するために設置されており、センター長、センター配置教員（兼務4人）、その他必要な職員で構成されている。

イ 運営・活動の状況

平成29年度における主な運営・活動状況は以下のとおりである。

i) センターの機能・業務内容の充実に関する取組

センターの機能・業務内容の充実に関して意見交換を行うとともに、意思の疎通を図ることを目的として、センター長、センター兼務教員（4人）及び職員（3人）によるスタッフ会議を開催（平成29年度は全5回開催）した。

ii) 教育の情報化推進に係る取組

4月6日（木）の新入生オリエンテーションで、情報メディア教育支援センターの利用に関する説明を行うとともに、4月12日（水）～21日（金）に、学部及び大学院の新入生を主な対象者として、学内におけるノートPC利用のための準備講習会を実施し、①ウィルス対策ソフトの確認及び利用方法、②学内LANの接続方法、③ポータルサイト、Gメール、印刷ステーションの利用方法等についての説明を行った。

iii) 情報セキュリティ対策の強化

本学の情報セキュリティ対策を強化するため、国立情報学研究所が運用を行っている「国立情報学研究所セキュリティ運用連携サービス」（NII-SOCS）に平成29年10月11日（水）付けで加入するとともに、本学キャンパス情報システム等における情報セキュリティログ統合検索システムを導入した。

また、大学メールアドレス及びポータルサイトのパスワードの最低12桁化及びファイアウォールの設定見直しを実施した。

iv) 情報セキュリティ対策基本計画の取り組み状況

情報システム企画運用委員会と連携し、前年度に策定した情報セキュリティ対策基本計画に基づき、以下の事項を実施した。

i) 入学生に対して入学時に情報セキュリティに関するリーフレットの配付及び情報セキュリティ講演会への参加の義務化

ii) 学生を対象とした自己点検の実施

iii) 教職員及び学部1年生を対象とした標的型攻撃メール対応訓練の実施及び講習会の開催

IV) 情報セキュリティ監査の実施

v) ギークラボ上越の開催

21世紀型スキル育成の一環として、地域の子どもを主な対象とした、プログラミングやデジタルものづくり等のICTスキルに関する教育や体験活動プログラムの提供を「ギークラボ (GeekLab)

上越」を前年度と同様に実施した。

VI) 印刷ステーションプリンターの有料化

印刷ステーションプリンターの有料化について、運営委員会で検討を行い、次年度から印刷ステーションプリンターのポイント化による上限設定、大判プリンターの有料化及び有料プリンターの設置を行うこととした。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

大学メールアドレス及びポータルサイトのパスワードの最低12桁化やファイアウォールの設定見直しについては、スタッフ間のメーリングリストで検討を行うことで早急に実施することができた。

ii) 今後の検討課題等

情報セキュリティについて、GメールやJUEN認証サイトの2要素認証の導入及び卒業生・修了生の休眠メールアドレスの対応について検討する必要がある。

② 運営委員会

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

センター長の諮問に応じ、情報メディア教育支援センターの運営に関する重要事項を審議するため、情報メディア教育支援センター運営委員会が設置されている。

ii) 組織の構成及び構成員等

センター長、センター兼務教員、各学系から選出された教員等で構成されている。

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成29年度は、委員会を1回開催し、定例事項については、昨年同様に書面審議を行った。

ii) 審議された主な事項

印刷ステーションプリンターの有料化

平成30年度情報メディア教育支援センター開館計画

平成30年度新入生向け各種講習会等の実施計画

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

印刷ステーションプリンターの有料化に向けて、他大学の状況を参考に有料プリンターの設置方法等について関係課等と早急な検討を行った結果、次年度から印刷ステーションプリンターのポイント化による上限設定、大判プリンターの有料化及び有料プリンターの設置を行うことができた。